



藤岡 緑 議員

## 公正な入札制度に向けて見直しは

**問** 現在、町が発注する工事の予定価格は事後公表性をとっている。事前公表制は談合の温床になりやすい。

事後公表制にも担当者や業者間の馴れ合い防止や綱紀粛正が強く求められる。それぞれメリット、デメリットがあり、より公正な入札ができるよう制度の見直しに向け町の考えは。

**答** 和田総務部長

入札制度の見直しは、今回の情報漏洩事件の発生前から庁内職員で構成する松前町入札・契約制度改善委員会を立ち上げ公正・公平な入札制度に向けて検討していた。県内各自治体の入札制度を調査し、その内容を参考に当町の制度の問題点を抽出し協議を行ってきた。この中では入札価格の

公表の在り方は対象ではなかったが、今回の事件後は、これについても検討している。また地元業者の団体からも意見を聴いている。

実施方針が決まったら議会及び関係業者にも報告する。

**問** その検討の結果はいつくらいをめどに報告されるのか。

**答** 予定価格の公表については、年度末をめどにお知らせしたい。

**問** 制度改善委員会に、法律的な専門家や学識者などの意見聴取も必要では。

**答** 一般競争と指名競争、事前公表と事後公表などの制度は、行政内部の事務手続きなので自治体の判断で行うため学識者の意見聴取は考えていない。

## 待機児童問題への対策は

**問** 10月から新規募集をかけている保育所や子ども園の家族に対して、待機児童を出さずに希望対象者は全員、入所、入園できるのか。

**答** 山田福祉課長

令和2年度の保育所の入所については、2月7日に決定通知を送って転出や空きができたところの調整を行っている。

待機児童の見込み数は、現在の時点で3歳未満児

が8人、3歳以上児が1人の合計9人だ。

その原因は、2歳児が施設の受入可能人数を超えた申し込みになったこと、0歳児、1歳児と3歳児以上は保育士が不足することによるもの。

**問** 保育所利用調整の項目に、パート、正社員で不公平な点数制度になっていないか。

**答** 保育が必要な事由に応じて、点数化している。雇用形態にかかわらず労働時間で点数化しているので、不公平はない。